

HSK NPO 法人 「文福」 ニュース ❀❀❀❀



❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀ NO.234

冒頭の一言

障ちゃん肉

ようやく天気も落ち着いてきて、日中は暖かくなってきました。朝と夜は日中を基準にした服でいると風邪をひくくらい寒いです。とまあ何気に、体調を崩しやすい季節なので皆さん、油断大敵です！！自分の友達はストレスから来る風邪で酷い目にあったそうです。

言うても、この日中の落ち着いた感じはすぐに過ぎ去ってしまうので、この暖かいうちに積極的に外へ繰り出し、平成最後の秋を楽しみましょう。1人でも良いし、お友達と誘い合っても良いし、秋のイベントもたくさんあるでしょう。まずはタクトあたりでも読んで情報をチェックしたら良いかもしれません。あと、ニュースの今後の予定とかね。

と、そんなわけでぼちぼち234号スタートです。

—もくじ—

冒頭の一言 … 1	「負けたくない」と「負けてはいけない」 八木勝自 … 2
弱視生活 濱野昌幸 … 3-4	お料理の会お知らせ … 5 Penko … 6-7
アルバイト … 8-9	障害者雇用水増し問題 日下正秀 … 10-12
運営会議報告 … 13	今後の予定 … 14 飯野さん追悼文 … 15
ありがとうコーナー … 16	

一九九四年八月四日第三種郵便物承認
工
郵
第
三
種
郵
便
物
承
認
一
一
二
回
目
一
三
、
三
、
五
、
八
、
一
〇
、
一
三
、
一
五
、
一
八
、
二
十
、
二
三
、
二
五
、
二
八
日
（
発
行

「負けたくない」と「負けてはいけない」の違いについて

八木勝自

県内の障害者運動や様々な活動をしている私の 12 歳先輩の 0 さんからある日の話しの中で「八木さんはこれまで人に負けたくないと思って生きて来ただろう。けれど私らのような軽度の障害者は負けてはいけないと自分で思ったり回りから思われて来た」と言われました。

私はこの話しを聞いて思ったのは、身体障害者の中でも生意気な私のような重度の障害者と軽度の障害者との違いがわかったような気がしたし、それは今の学校教育にも当てはまると思ったのです。

私がこの「負けたくない」と「負けてはいけない」という事を聞いてどう思ったかという、まず「負けてはいけない」が言葉には「人(他人)には負けてはいけない」とか「自分に負けてはいけない」ということの意味で他人を否定はしていて、差別したり自分をも否定して差別しているの事だと思し、一方「負けたくない」というのは相手(他人)の存在を認めたり、ライバルとして認めて肯定していることだと思し、自分をも高めて肯定していることだと思のです。

私の場合で言えば、私は若い頃から尊敬できる人やそう成りたい人を決めて、人がどう思うかはわかりませんが、自分が尊敬できる人や目標にしている人に近づいたと思ったらまた別の目標の人や尊敬できる人を見つけてその人に一歩でも近づきたいと思って自分を高めて来たつもりです。

しかし、今の学校教育や社会ではテストや体育などでも人に「負けてはいけない」「自分に負けたくない」ではなく、「自分に負けてはいけない」と自分や相手を肯定していてそれが差別社会を作っていると思うのです。

私は 0 さんの軽度の障害者代表される「健全者や社会に負けてはいけない」や「自分に負けてはいけない」も当人にとっても大変な事だし、私から言えばこの差別社会を何とかしたいと 0 さんや誰から見ても生意気な重度の障害者の私として思うです。

弱 視 生 活

富山県視覚障害者協会
業務執行理事 濱野 昌幸

唐突ですが、一口に視覚障害者といってもいろいろあります。全盲の人、弱視の人、生まれつきの人、年をとってからの人、盲学校出の人、普通校出の人。目の病気や育った環境など、様々な要素がその人の能力や人間性に大きく影響しています。このお話はそこら辺をご承知いただいた上で、私個人のへんてこりんな弱視生活を、健常者、他の障害者の皆さんにお読みいただければと思っています。

私は弱視です。ただし、かなり見えない弱視です。どのくらい見えないかというと、視力検査の0.1のランドルト環がそもそも見えません。0.01も出さず、視能訓練士さんの指の数を答える検査に突入します。視覚だけでは実母と、よそのばあちゃんの区別がつきません。実母に対し「いつもお世話になっております」といったこともあります。実母もまた見えない弱視なので「はいはい、どうもどうも」なんていってました。更には、向こうから歩いてくる人が「こんにちは」というので、「こんにちは」と大きな声で答えます。すると相手は携帯電話で会話中の人だった、なんていうのは日常茶飯事です。

そんな視力ですから、私は学生時代、主に盲学校に通いました。すると盲学校には全盲の学生さんがたくさんいます。一応弱視の私は生意気にも全盲の方を誘導し、手伝い、ものを教える毎日を送ります。勉強やスポーツも「人よりできる」が「一番できる」に変換されて感じられます。結果、驚くべきことに、こんな私でも盲学校の狭い世界ではエース級だったんです。そんな勘違い生活を何年も送っていると「俺、できるんじゃねえ」なんて妙な自信が生まれます。間違った自信は、お山の大将のプライドに育ちます。皆さんは「いいから、俺のいう通りやってりゃいいんだよ」って本気で言い放った

ことがありますか？私はあります。最低ですよ。人として。

そんなこんなで社会に出たプライドだけ立派な私でしたが、仕事をしていく中で、毎日100人くらいの人と接することになります。これが薬でした。失敗し、恥をかき、ののしられもしました。保健所の人に知られたら、こっぴどく怒られるかもしれないミスもたくさんしました。でも、その都度、それ以上に励ましたり、助けたりしてくれる仲間がたくさんいてくれました。就職して20年、いろんなことがあった結果、私は丸くなりました。プライドに見合うだけの(?)自分を作りました。そして次のような3つの自分のテーマを見つけました。

- ・人(健常者)のすることは自分もしてみる。
- ・覇気を持つ。
- ・好きなら全力、嫌いならもっと全力。

42歳、まだまだ不惑をちょっと過ぎた程度で悟れるものでもないと思いますが、現状はこんなところです。

さもドラマティックな半生のように書き連ねてきましたが、この世代の生まれつきの見えない弱視を盲学校に通わせれば、多かれ少なかれこんな具合に育つのではないのでしょうか。私の場合は少し好奇心が強く、身の程知らずだった結果だと思っています。現在では首都圏をフラフラ散策したり、パチスロで生活費を稼いだり、読書(音訳図書)で知識を養ったり、たくさんの趣味を楽しみながら過ごしています。視覚障害で紆余曲折ありましたが、少々不便はありますが、愉快的な人生の真っ最中です！



「お料理の会スーパー」

お知らせ

だんだん秋が深まる今日この頃ですが、いかがお過ごしでしょうか。
今年も残すところあと2ヶ月となりました。クリスマスの前に広い調理室
を利用して「お料理の会スーパー」をやりたいと思います。

クリスマスにちなんだメニューを考え中。中身は当日までのお・た・の・
し・み。

みんなで楽しく作って、おいしい料理ができるといいな…。

♥日 時 12月15日(土) 9:30~14:30

♥場 所 サンフォルテ2階 調理実習室

♥会 費 1,000円

♥定 員 24名(定員に達した時点で締め切ります。)



みなさんの参加
お待ちしております。





Penko のおひとりさま 珍道中!! (part 39)

普段私は、家にいるとき以外は電動車いすに乗って生活をしています。電動車いすに乗り始めたのは高校三年生の秋で、それまでは地べたをお尻で移動しており、（本人は歩いているつもりですが）周りから踏まれそうになりながら、まさにペンギンそのもので面白がられながら過ごしていました。そのおかげからかペンギンにはすごく愛着を持っています。動きが鈍いのでほぼ毎日学校に遅刻していました。教室では先生に抱えてもらい、車いすに乗って授業を受けていました。男の先生の時は若い先生だとラッキーでしたが、年齢が上の先生に対しては頼みにくかったです。登下校するときは小学生の遠足用のリュックサックを背負っていました。私のことを知っている方は想像してみてください。

電動車いすに乗ることになったのは将来のことを考えられてなのでしょうか、わかりません。いざ乗ってみたら、パーッと世界が広がり嬉しかったことを憶えています。遅刻はなくなりましたが、運動が減ってしまいました。ずっと昇降型に乗っています。おかげで周りと同じ目線で過ごせるようになり、行動範囲も広がりました。食事もテーブルでとれるようになり、介助も減りました。

電動車いすに乗れたおかげで将来の展望が変わりました。施設で仕事につながる作業を長年続けて、地域生活に入り、就職・退職を経験して現在に至ります。今までの作業や前職の仕事で経験したことがすごく役に立っています。

公共交通機関も進歩して、新幹線・電車・バスなどに乗れるようになって外の世界も広がりました。周りからは「すごいね」と言われますが、全然すごくないと思っています。いつも「電動車いすのおかげです」と答えています。飛行機の中では荷物扱いですが。

外に出ると危険と隣り合わせで、ぼーっとして何度か段差から落ちたことがあります

まして、なんと車いすがうまく着地するんですよ、これが。バッテリーが重たいおかげかもしれません

余談ですが、日本から出たことがなく、外国に行ってみたいと思うのですが、なかなか勇気が出ません。一生に一度でいいから行ってみたいと思います。

マンガや宝塚などで有名な「ベルサイユのばら」の舞台になったフランスのベルサイユ宮殿に行ってお姫様の気分を味わいたいです。(ガラにもなく)パリの街をお散歩してみたいです。

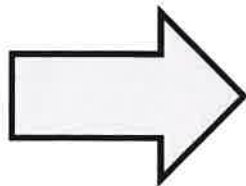
最近思うことですが、電動車いすに羽がついたら、雪道がとっても苦手なので飛んで行けたらと不屈きなことを思っています。

電動くるまいすさま いつも行動を共にしてくれてありがとうございます。
今後とも一生おつきあいをよろしくお願い致します。

※近況

3年ぶりにベトーヴェンの第九の合唱団に入りました。12月までの限定で日・木と呉羽で練習に参加しています。いろいろあってまだ1回だけ練習に行ったきりですが、11月からは頑張って練習に行けるようにしたいです。

本番は12月24日(月)富山オーバードホールです。声楽家とオーケストラとの共演です。聴きにきていただければうれしいです。



🌐初めての海外旅行🌐

文福バイト 岩井ひかり

私はこの夏、友達と初めての海外旅行をしました。旅行先はアメリカのフロリダ州(オーランド)です。ここを選んだ理由は第一に英語圏であること、第二にディズニーランド(WDW)内なら身体チェックや持ち物チェックもあり、治安が良いと考えたからです。



ハリウッドスタジオ

WDW には「マジックキングダム」「エプコット」「ハリウッドスタジオ」「アニマルキングダム」の 4 つのパークがあり、それぞれ異なった雰囲気のパークでした。この 4 パークを 3 日間で回りました。ほかにもユニバーサルスタジオ・オーランドや買い物に出かけました。

実際に滞在してみて感じたことは、会話はもちろん英語ですので大まかにしか理解できないことが度々ありました。しかしそのとき何人ものアメリカの方が助けてくださり、人の温かさをととても感じました。



アニマルキングダム



パークへの移動にはバスを利用しました。ディズニーリゾート内だけかもしれませんがアメリカのバスは電動車いすやカートのようなものを利用した方も容易にバスに乗れるような工夫がされており、バリアフリー化が進んでいるなと思いました。

英語での会話において理解できてもどう返答しようか考えてしまい、無言になってしまうことも多々ありましたが、外国の人ともっとコミュニケーションをとりたいと思いました。このことからもっと英語の勉強をする必要性を感じました。また実際に英語圏へ行き、実際使うことで英語学習へのモチベーションを上げることもできたので、また行きたいと思います。



ユニバーサルスタジオ・オーランド



そんなに足りないのか障害者？

障害者雇用水増し問題

日下 正秀

どういった経緯で新聞発表に至ったかはわかりませんが、今年8月厚労省が各中央省庁で障害者雇用率が水増しされていると実態を公表しました。障害者雇用促進法が1960年に義務化され、76年には民間企業も義務化されました。すべての事業所で障害者の雇用を規模に応じて一定人数雇うことを命じているのですが、ほぼすべての官公庁や地方公共団体で法定雇用率が守られていないことが判明しました。民間企業に水増しの事例はありません。毎年チェックされ、法定雇用率を達成できなければ名前の公開や助成金のカット等の行政処分が科されますが、官公庁は雇用が規定に達していなくてもほとんど野放し状態で現在に至っていたということが暴露されました。官公庁は根拠が分からないままに、つまり障害者とはこういった人達を指すのかということも分からないままに障害者雇用率に算入していたのです。

一応厚労省は障害者手帳や今現在は知的障害者の療育手帳、精神障害者の保健福祉手帳所持者が対象で確認をするようにと各省庁に通達してあるはずだと言いつけています。各省庁の人事担当者は「そんなの聞いてねえよ」と言わんばかりの言い訳から、手帳の本人確認がプライバシーの問題からやりにくかったとか。全職員数の計算が違っていたとか言い訳にもならないような説明が次々と出てきていますが、計算ミスや解釈の違いなどではなく、最初っから障害者を採用するのではなく行政自らの業務の中で障害者となった者を雇い続けて辻褄合わせをしているのだろうとか（もちろんそういった職員を雇い続けることは当然ですが）見た感じで本人に確認を取らず障害者に参入したり、働いている部署と違う職員から名義貸しを依頼されたが雇われるはずの障害者の仕事口を奪うことは出来ないかと断ったという元公務員の体験談も出ていました。行政側の意図的な不正の疑いがさらに強まっています。

別に障害者手帳の所持者は喜んで手帳を手にしたわけではありません。社会生活を送っていくうえで色々な困難があることから年金の申請や医療や公共料金等の優遇処置や免除を受ける必要性で親や周囲の者が取らせたり、自ら申請して支給されたものであって、決して障害者かそうでないかを判別する唯一のものではありません。実際障害者団体からは雇用率の問題については手帳第一主義ではないかと批判の声も上がっています。障害者雇用の檄を飛ばしている厚労省でさえ雇用率をギリギリ満たしているだけで、あくまで雇用率は最低限のボーダーラインであり、そんなことで大問題になっている日本とはなんと貧しい国だろうと思わざるを得ません。障害者を雇いすぎだと吊るし上げられる官公庁や民間事業所は一部の悪徳 A 型作業所を除いて聞いたためしがありません。

一連の騒動を聞くに及んで各省庁どいつもこいつもですが、法をつかさどる立場の法務省は言うに及ばず、ことに腹立たしいのは文部科学省と国土交通省に関してです。文部科学省については自ら打ち出してきた障害者隔離教育を省みることなく障害者を雇おうにも仕事を任せられる障害者がいないと言い放っていることに呆れ返りました。国土交通省に関してはいろいろな障害者が職員となっていれば障害者にとって使いやすく安全な公共交通機関がもっと早く普及したり、職員の差別的な対応が見直されていたのではないかとつい考えてしまいます。

行政機関がそんなにいいものとは思いませんが、しかし「たかがお役所、されどお役所」です。日本は確か法治国家だと聞いています。行政は法律に基づいて仕事をしなくてはいけないことになっています。行政機関は雇用しなかった全ての障害者達に謝罪すべきです。雇える障害者がいないというのは言い訳に過ぎません。各行政機関の人事担当者に一言言いたいです。障害者は数を水増ししなければいけないほど少なくはありません。努力と工夫を民間事業所ばかり要求せず、各行政機関が色々工夫すれば障害者の人材はたっぷりいるはずです。

<2018年8月29日 北日本新聞>

障害者雇用

中央省庁8割水増し

27機関3460人採用枠新設検討

政府は28日、中央省庁が雇用する障害者数を水増ししていた問題を巡り、関係閣僚会議（議長・菅野偉官房長官）

を首相官邸で開いた。昨年雇用したと発表していた約6900人のうち、国のガイドラインに反し不正に算入していた分が3460人にとった。調査結果を公表、再発防止の緊急対策を10月に取りまと

めると決めた。国家公務員の採用に障害者枠を新たに設ける検討に入った。

【関連記事2、6面】

調査結果によると、中央省庁など27機関の行政機関の8割に当たる27機関で該当。2・49

行政機関名	雇用の減少数 (水増し数)	実際の雇用率
国総務省	1022.5人	0.87%
国土交通省	603.5	0.70%
法務省	539.5	0.80%
防衛省	315	1.01%
財務省	170	0.78%
農水省	168.5	1.22%
経産省	125	0.39%
文部科学省	101.5	0.81%
厚生労働省	70	0.76%
環境省	49.5	0.50%
消費者庁	47	1.35%
学術振興会	35	0.57%
労働政策研究・研修機構	31	0.38%
国土交通省 国土院	31	0.54%
防衛省 防衛庁	28	0.54%
内閣府	27	1.14%
内閣府 官庁	22	0.31%
林野庁	13	1.66%
国土院 国土院	12.5	1.08%
計画院	12.5	1.57%
裁判所	10	0.75%
人事院	9.5	0.12%
水産庁	8	0.65%
労働安全衛生委員会	3.5	2.75%
公正取引委員会	2	0.00%
個人情報保護委員会	1	0.00%
消費者庁	0	0.00%
労働政策研究・研修機構	0	2.38%
警察庁	0	2.41%
金融庁	0	2.42%
法制局	0	2.60%
海上保安庁	0	3.10%
計	3460	1.19%

国の障害者雇用水増しの調査結果

（昨年6月時点）当時障害者は55人分として計算の上で算出された。記者会見で菅氏や制度を所管する加藤勝彦厚生労働相は「判断するのは困難だ」と述べ、原因究明を弁護士らから要請された。

県内は2機関1町

県内では、県警と県教委、としてカウントした人のうち、延べ11人が手帳を持っていた。いずれの年も、法定雇用率は未達成となった。

県内では、県警と県教委、としてカウントした人のうち、延べ11人が手帳を持っていた。いずれの年も、法定雇用率は未達成となった。県教委は、自己申告に頼って身体障害者かどうかを判断していたとして、手帳を確かめる再調査に乗り出した。黒部市と市教委は、過去の採用で確認方法が不明確なケースがあるとして再調査中。

立山町は、管理職による聞き取り調査を基に判断している。15年から4年間で障害者

者の検訂チームに委ねるとした。今年中に雇用率に満たない人数を雇用する努力を申し渡す。経緯の検証と障害者雇用策の検討を始めた。古谷一之官房副長官補が「非常勤などの従来型にとまらざる、常勤でも積極的に受け入れる方法を考えよう」と指示した。

落ち込んだ。政府は午後、厚生相を下す。とする関係府省庁の連絡会議を開き、経緯の検証と障害者雇用策の検討を始めた。古

運営会議報告 9月19日現在

各部の報告

★学習会

- ・利光さんとの打ち合わせを9月24日に金沢でしてきます。

★障害者部会

- ・9月24日 全国介護保障要求者組合総会、25日厚労省交渉
- ・9月28日 18時30分、西別ハンセン病ふるさとネットワーク 講演シンポジウム
- ・JR西日本へ要望書を提出予定
11月3日(文化の日)(予定)やまゆり園事件のピラマキをする。シンポジウムに広げていければ
- ・にぎやかにて映画上映会(できんでいいが&明日の風)
- ・合同クリスマス会のお誘い

★介護人派遣事業部

- ・10月13,14,20日 ザ☆カイジヨ
- ・9月20日 派遣のオープン会議

★レクリエーション

- ・お料理の会やりました
- ・次のイベントは12月15日(土)お料理の会の予定

★障ちゃんニュース

- ・今号は22日に印刷やる予定

★まっち

- ・原稿〆切 来月に延期 募集します

★その他

- ・ミニキャブの事故の件
駐車場内で事故があり、全体修理中
- ・白ラクが乗れる人がいなくなったので。助成対象車なので廃車にはできないので返すことになる。
- ・新しくリースする車について、ベルトは自転巻き取りの方が良い、でも壊れやすいので使用に気をつけよう。車の大きさ、車種については検討する。

次回は、10月23日(火)

報告者：日下



◆今後の予定◆

このコーナーでは、文福と他団体の今後のお知らせを載せていきますので、チェックして、たくさんの方々にお越し頂ければと思います。よろしくお願いします。

◎ 連続学習会 第三回目

日時 11月10日〈土〉13:30～

場所 サンフォルテ 303号室

テーマ 「なぜ、障害者は子どもを産むことを許されないのか!?
優生思想と現代」

講師 利光 恵子さん（立命館大学生存学研究センター客員研究員）

参加費 500円

主催 NPO法人 文福 TEL (076) 441-6106

◎ お料理の会スーパー

日時 12月15日〈土〉9:30～14:30

場所 サンフォルテ2階 調理実習室

会費 1,000円

定員 24名（定員に達した時点で締め切ります。）

主催 夢宙人

問い合わせ先 NPO法人 文福 TEL (076) 441-6106

追悼文

2018 年 9 月 19 日の未明、飯野久男さんがお亡くなりになりました。

個人的なことにはなりません、飯野さんとはけっこうな思い出があります。レクリエーションのキャンプ実行委員長を 2 人でやったり、移動支援で黒部のトロッコ電車に乗ったり、立山のホテルで一緒にご飯を食べたりしました。飯野さんとの最後の思い出は雪の吹雪く中、一緒に煙草を吸いに外へ出て、寒い寒いと言いながら煙草に火をつけようとして結局つかず、結局吸えずに中へ戻ったことでしょうか。あれは自分的にはけっこうおもしろかったです。果たして何をしに外へ出たのか。

飯野さんが文福メンツと関わりだしたのは前団体（障地間）時代からという話を聞きました。主にレクリエーションに参加してくれていたそうです。長年にわたりずっと関わってくれていたんだなと思います。ありがとうございます。先に書いたキャンプ実行委員の時は、飯野さん宅へお邪魔して一緒にキャンプの報告を書きました。その時、飯野さんのお部屋はキティちゃんだらけでちょっと驚いたのを覚えています。その時から僕の中では飯野さん＝キティちゃんです（笑）また、僕が通院しているときも、その病院に偶然入院されていて、お見舞いに行ったこともありました。

なんかうまいこと言えませんが、話していて和むことのできる方だったなあと思います。お酒と煙草が好きで、晩年はそれらは控えないといけない状態でしたが、打ち上げなどで一緒に飲んだりしたのも良い思い出です。いっぱい和ませていただき、良い思い出もたくさんあります。飯野さんありがとうございました。

飯野さんのご冥福をお祈り致します。

本当にありがとうございました。

吉田健太



ありがとうコーナー

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今後もよろしくお願ひします。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

障ちゃんニュースNo.234 号は如何でしたでしょ

うか？

ついこのあいだ「新年おめでとうございませう。」と言った気がするのに、あら！ 2018 年も残すところ 2 ヶ月となりました。(¬▽¬;))

年齢を重ねるごとに年月の流れ早く感じる私なのです。

紅葉の綺麗な季節、紅葉狩りに行きたいですね。

* 新規・継続会員 *

内田すえのさま 三辺 紀子さま

* カンパ *

三辺 紀子さま 河上千鶴子さま 匿名希望さま

* 物品提供 *

利田 緑さま 下伏 玲子さま 鈴木美明子さま 瀬戸紀美子さま

発行人：北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉 3 1 2

編集人：特定非営利活動法人 ^{ぶんぷく} 文福

〒930-0887 富山市五福 3734-3
e-mail:bunpuku@arrow.ocn.ne.jp
HP: <http://bunpuku.org/>

TEL/FAX (076) 4 4 1 - 6 1 0 6

定価 50円

※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。

一九九四年八月四日第三種郵便物承認
HSK 毎月一ニ回 (一、三、五、八、一〇、一三、一五、一八、二十、二三、二五、二八日) 発行